



別府市のNPO法人別府温泉地球博物館は「温泉マイスター」のオンライン学習版「e-温泉マイスター」を今秋スタートさせます。

① 「e-温泉マイスター」とはどのような学習システムでしょう？

計30講座があり、泉質や温泉の定義、適用症や禁忌症、温泉ツーリズムなど幅広い学習テーマを提供。パソコン画面上の教材を見ながら、1講座10分程度で学べる。講座終了ごとに復習問題で理解度をチェックし、最後の修了検定に合格すれば「e-温泉マイスター」認定証が得られる。



オンラインで温泉について学ぶ「湯治女子」モニターとして体験中。別府市旅館・ホテル業界から

泉質、定義…マイスター入門版 別府30講座、今秋スタート

計30講座があり、泉質や温泉の定義、適用症や禁忌症、温泉ツーリズムなど幅広い学習テーマを提供。パソコン画面上の教材を見ながら、1講座10分程度で学べる。講座終了ごとに復習問題で理解度をチェックし、最後の修了検定に合格すれば「e-温泉マイスター」認定証が得られる。

「湯治女子」たちは本格導入を前に、4月から週に1回オンラインで学習。知識を取り入れることで温泉をより楽しめる、「温泉の素晴らしさを広く伝えたい」と意欲を見せていた。

「温泉マイスター」は、温泉の魅力の世界に正しく発信する人材育成のための資格。2006年に県が認定制度をスタートさせ、14年に同法人が認定事業を受け継いだ。「e-温泉マイスター」の学習システムは、市内の旅館・ホテル業界から「仕事の合間に温泉について学習できないか」との声を受けたことから開発した。

「温泉の知識が広く学べる。温泉マイスター資格取得のきっかけになれば、日本の温泉の良さを学び、海外にも発信してもらいたい」と話している。(佐藤弘子)

オンラインで
温泉学ぼう

② 「e-温泉マイスター」のシステムを開発したきっかけは？

市内の旅館・ホテル業界から「仕事の合間に温泉について学習できないか」との声を受けたことから開発した。

③ 「温泉マイスター」とはどんな資格ですか？

温泉の魅力の世界に正しく発信する人材育成のための資格。2006年に県が認定制度をスタートさせ、14年に同法人が認定作業を受け継いだ。

④ 同法人の幸準一郎さんは何と話していますか？

「温泉の知識が広く学べる。温泉マイスター資格取得のきっかけになれば、日本の温泉の良さを学び、海外にも発信してもらいたい」